

(様式 1-3)

いわき市生活拠点形成事業計画 生活拠点形成事業等個票

平成 26 年 6 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	26	事業名	災害公営住宅先行展示施設整備事業 (小名浜)	事業番号	◆A-1-2-3
交付団体	福島県		事業実施主体 (直接/間接)	福島県	
総交付対象事業費	3,450 (千円)		全体事業費	14,925 (千円)	
事業概要					
<p>原子力災害からの居住制限者向け災害公営住宅の先行展示施設を見学するバスツアーを行うための増額申請。</p> <p>*当該事業は、先行展示施設整備及び管理・運営、施設解体までを一体で委託する事業である。</p> <p>【事業概要】</p> <p>整備箇所：いわき市小名浜字辰巳町 2 3</p> <p>施設内容：2LDK 1 戸、3LDK 1 戸、駐車場</p> <p>設置期間：平成 26 年 2 月から平成 28 年 2 月末まで</p> <p>運営方法：見学者を案内する職員を常時 1 人程度配置</p> <p>※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください 『福島県復興計画(第 2 次)』</p> <p>取組名：生活再建支援プロジェクト【復興公営住宅整備】</p> <p>取組内容：避難町村の意向を十分に確認しながら、県営住宅を含む様々な整備方法について検討中</p>					
居住制限者の避難の状況との関係					
<p>居住制限者は長期化する避難生活により、先行きに対する不安を抱いており、安心して生活できる将来のイメージを描き、居住制限者の希望をつないでいくことが喫緊の課題となっている。</p> <p>このため、パースや間取り図による説明を進めるとともに、入居スタイルを体験できる先行展示施設を整備することにより復興の「見える化」を進め、具体的な生活のイメージを体験して貰うことにより、居住制限者が将来設計を構築することを支援していくとともに、災害公営住宅入居への判断材料を提供していく。</p> <p>居住制限者に対して、集合住宅でもバリアフリー仕様やエレベータの設置により車椅子での生活も可能で、高齢者にとっても優しい仕様であることを積極的に PR し、集合住宅での快適で安心した生活を訴えていく。</p> <p>※避難者支援事業等である場合には以下の欄を記載。</p>					
関連する基幹事業					
事業番号	A-1				
事業名	災害公営住宅整備事業				
交付団体	福島県				
基幹事業との関連性					
<p>居住制限者向けの災害公営住宅の整備については、先行する県営 500 戸分について今年度工事に着手するものの、入居は早いもので 26 年秋頃からとなる。</p> <p>この入居までの期間を有効に活用して、先行展示施設を整備し、災害公営住宅の PR を行うことで、入居促進につながると考えられる。</p>					